

被災地と、みんなを結ぶ

2017年6月12日 No.45

# つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 [rentai@sv.rengo-net.or.jp](mailto:rentai@sv.rengo-net.or.jp)

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

## 震災を忘れない、風化させない、教訓をいかす！ ～連合「いのちを守る絆フォーラム」開催～

東日本大震災から6年、熊本を中心とする九州地震から1年が経過しました。連合は、震災からの一日も早い復興に向け、政府への要請行動を行うとともに、震災を風化させない様々な取り組みを展開してきました。この「いのちを守る絆フォーラム」は、その一環として年に一度開催しており、今年は熊本に於いて開催しました。各地方連合会や構成組織から140名の方々にご参加いただきました。



◆記者から見た震災発生時とこれまでの状況や今後の課題◆

熊本日日新聞 編集委員室 編集委員・論説委員

小多 崇（こだたかし）さん

（要旨）震災は1年を過ぎても現在進行形である。仮設住宅での問題や、人口流出や雇用のミスマッチなど、人手不足が顕在化している。復旧していない公共交通機関もある。精神的に追い詰められる人たちのケアが必要だが、行政の十分な支援が行き届かない。震災の風化も懸念されている。震災の復興のみならず、人と人との関係を築いていく力を皆が持つことが必要であり、それを強めることによって前に進んでいきたい。



◆熊本からの報告◆

連合熊本 上田 淳 会長

（要旨）事務所や組合員の仲間、その家族も被災した。しかし、震災直後より、ボランティアやカンパにより全国の仲間へ支えていただいたことにこの場をお借りして御礼申し上げたい。そういった支援により、連合熊本としてもこれまで懸命に復旧活動に努めてきた。今後も自治体や他団体と連携しながら、一日も早い復興をめざして取り組んでいく。

# 「熊本県を中心とする九州地震・被災地視察」

第75回中央委員会が開催された後、現在もなお困難が続く被災地の復興・復旧の進捗状況を把握し、今後の構成組織、地方連合会、被災地と連携した取り組みに活かしていくことを目的とした視察を実施しました。視察団は、まず熊本城を訪問し、現地のボランティアガイドの方々から説明を受けながら、現在再建が進められている熊本城の様子について見学しました。その後、最も被害の大きかった益城町を車窓から視察しました。



地元のボランティアガイドの説明を受けながら見学



崩れてしまった石垣と奇跡的に崩落しなかった戌亥櫓



再建が進む熊本城の天守閣



最新技術で石垣の石は全て元の位置に戻される予定



地震で歪んだ歩道がそのままになっていた。



瓦礫が撤去された更地が至るところで見られた。

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行しています。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真を是非お寄せください。皆さまからの投稿お待ちしております！

●連合・連帯活動局

TEL : 03-5295-0513 FAX : 03-5295-0547 メール : rentai@sv.rengo-net.or.jp